

岐阜県立東濃実業高等学校

学 校 長 亀山 芳久

学校住所 可児郡御嵩町伏見 8 9 1 電話 0574-67-0504

- 1 会議の名称 平成 2 1 年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会 (第 2 回)
- 2 会議の構成 評議員 藤岡 正迪 可児工業団地共同組合専務理事 (企業関係)
西田由美子 豊和機工株式会社 (関係機関関係)
野中三津夫 元本校 PTA 会長 (地域住民代表)
伊藤 和子 国際ソロプチミスト可児会員 (地域住民代表)
奥村千恵子 御嵩町青少年育成推進委員 (地域住民代表)

学校側	亀山 芳久	校長
	大月 龍郎	教頭
	谷貝 眞	教頭
	宮西 武彦	事務長
	水野 圭三	教諭 (教務主任)
	中嶋 伸吾	教諭 (生徒指導主事)
	渡辺 克人	教諭 (進路指導主事)
	林 智子	教諭 (生活文化科主任)

- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成 2 1 年 1 1 月 4 日 (水) 午後 1 時 ~ 午後 3 時 2 0 分
委員 5 名と学校側 8 人が出席

5 会議の概要

(1) 本校の前期の動向について 教務部より 生徒指導部より 進路指導部より	(3) 学校に望むこと 学校運営に関すること 教育活動に関すること 外部評価の結果について
(2) 授業参観を終えて	

- 意見 1 大学との連携授業を行っているというが、具体的には、どのように行っているのか知りたい。
名城大(都市情報学部)で教授による講義を受け、コンピューター演習などの講義を受けたり、中部学院大で授業を受けたりして、生徒が大学の講座を受ける高大連携講座を行っている。
- 意見 2 強く生き抜く力を育ててもらいたい。生きる力を持つ人間を育てることを大切にしていきたい。授業に対してもほとんどの生徒が一生懸命取り組み、目的を持って学習している。生徒の姿は、地域からも好評である。そういった姿を継続できる教育活動をこれからも推進してほしい。
- 意見 3 授業を参観したが、社会に出て即戦力になる内容の授業であったと思う。生徒の姿を見ていると、普段からの基本的な生活習慣がしっかりと身に付いていると感じた。
- 意見 4 服装など、授業に対する構えがしっかりと身に付いており、びっくりした。学業や生活に不応を示す生徒(退学希望生徒)はどれくらいいるのか。
少数ではあるが、転学を希望する生徒がいる。学ぶ場所を変えることで本人の再起を促すように指導している。他校と比較し、不応を示す生徒は少ない。
- 意見 5 緊急連絡用に、携帯電話を使ったメール通信のシステムを整備したらどうか。保護者が登録することで、学校からの情報をすぐに把握することができる。
- 意見 6 東実の就職率が他校と比較し高いことは、日頃からの指導の結果だと思う。自分の願いに合った就職をして、それを継続していこうとする意識を育ててほしい。

6 会議のまとめ

会議の運営について

- ・配布資料
- ・教務部 新入生入学動機調査
授業評価アンケート集計結果
- ・生徒指導部 前期の動向について
MSリーダーズ活動報告
- ・進路指導部 3年生の進路状況
- ・外部評価結果と分析
- ・新聞で見る東実の姿

- ・司会 大月 龍郎 教頭
- ・記録 谷貝 眞 教頭

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

- ・インフルエンザ流行に伴う、本校の現状について
- ・学校支援訪問を終えて

(3) 本校の前期の動向について

- ・教務部より
- ・生徒指導部より
- ・進路指導部より

(4) 授業参観

(5) 意見交流

- ・授業参観の感想
- ・東濃実業高校に望むこと

(6) 連絡事項

- ・次回開催日 1月中旬

(7) 閉会のことば